**事　務　執　行　概　要**

**都市空間創造グループ**

１．連絡調整

室内業務を円滑に推進するため、部内各局室課及び室内各グループとの連絡調整を密にし、所管業務の適正な執行に努めた。

２．人事管理

服務規律の厳正を期し、全体の奉仕者として誠実かつ公正に職務を遂行するとともに、職場の明朗化並びに事務処理効率の向上に努めた。

３．予算執行管理

予算の執行に当たっては、室内各グループと連絡調整のうえ、執行状況の把握及び適正な管理に努めた。

４．「グランドデザイン・大阪都市圏」の推進

府域全体の都市空間の創造に向けた方向性を示した「グランドデザイン・大阪都市圏」の具体化を推進するため、庁内関係部局で構成する「グランドデザイン・大阪都市圏連絡調整会議」を令和元年８月と令和２年１月に開催した。

（１）広域サイクルルートを活用したまちづくりの推進

令和元年７月から令和２年３月にかけて、大阪府、京都府、兵庫県等の関係自治体による広域サイクルルート形成に向けた連携会議を実施した。また、サイクリングマップを作成するとともに、令和元年９月から12月にかけて走行会やニーズ把握・課題抽出のためのアンケート調査などの社会実験を実施した。

（２）生駒山系の豊かなみどりを活かしたまちづくりの推進

生駒山系のみどりを活かしたまちづくりの推進のため、「生駒山系の歴史・文化遺産を活かしたまちづくりに関する連携会議」を開催し、その取り組みとして、民間団体が実施するイベント開催について協議・調整を行った。

（３）歴史街道沿道の地域資源を活かしたまちづくり

能勢街道や竹内街道沿道の地域資源を活かしたまちづくりを進めるため、市町村や関係団体で構成するネットワーク会議への参加や連携した広報活動など、地域のまちづくりの取り組みを支援した。

（４）「グリーンデザイン推進戦略」の推進

「グリーンデザイン推進戦略」の推進に向けて、「グリーンインフラを活かしたまちづくり事例集」を活用し、市町村や民間企業などに普及啓発を行った。

また、「戦略７　密集市街地をみどりの力で蘇らせる」を実現するため、民間事業者が進める密集市街地の除却跡地を活用した「コミュニティ農園」の整備、開設について、関係課・地元市と共に、協議・調整を行った。

**事業企画グループ**

１．「グランドデザイン・大阪」の推進

当グループが所管する３つのエリア「新大阪・大阪エリア」、「夢洲・咲洲エリア」、「御堂筋・周辺エリア」の推進にかかる事業の企画、調整を行った。

（１）新大阪・大阪エリア

うめきた２期のまちづくりについては、「うめきた２期区域まちづくりの方針」に掲げるまちづくりの目標「『みどり』と『イノベーション』の融合拠点」の実現に向け、大阪市や（独）都市再生機構等と連携して基盤整備事業の推進を図るとともに、経済界や行政、開発事業者等による「みどりとイノベーションの融合拠点形成推進協議会」に参画し、『みどり』の空間を想定した屋外フィールドにおける実証実験などの先行的な取組みを実施した。

また、新大阪駅周辺地域については、内閣府より、新大阪駅周辺地域が「都市再生緊急整備地域の候補となる地域（候補地域）」として公表されたことを受け、大阪市と連携し、国、経済団体、民間事業者などからなる「新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備地域検討協議会」を設置し、都市再生緊急整備地域の指定に向け、リニア中央新幹線等の開業による波及効果を活かしたまちづくり方針の検討を進め、令和元年度末に、新大阪駅周辺地域が担うべき役割や求められる導入すべき都市機能などを、「まちづくりの方針の骨格」としてとりまとめた。

（２）夢洲・咲洲エリア

「夢洲まちづくり構想」（平成29年8月策定）をもとに、新たな国際観光拠点の形成に向けた基本方針をとりまとめるため、府市・経済界などからなる「夢洲まちづくり基本方針検討会」（平成31年3月設置）に参画し、夢洲まちづくりの方向性について検討を行い、「夢洲まちづくり基本方針」の策定（令和元年12月）に取り組んだ。

また、コスモスクエア地区関係者で構成される協議会等において、地域防災体制の充実を図るとともに、にぎわい創出のイベントとして、府・市・地域企業等で構成する実行委員会において、令和元年11月に「咲洲こどもEXPO」を実施した。

さらに、将来の大阪港ベイエリア全体のまちづくりを推進するため、ベイエリア周辺事業者が参画する「大阪港ベイエリアに関する意見交換会」を開催するなど、大阪市、堺市や関係部局と連携しながら、エリア全体の活性化に向けた取り組みを行った。

（３）御堂筋・周辺エリア

大阪都心の顔としての魅力・集客力を活かし、御堂筋の歩行者空間化などの道路空間を利活用した賑わいづくりの実現に向け、大阪市や地域団体等関係者とともに、「御堂筋将来ビジョン（平成31年3月策定）」の取組みを推進する体制をつくり、側道歩行者空間化や賑わい創出等に向け協議等を実施した。

２．「グランドデザイン・大阪都市圏」の推進

当グループが所管する「淀川沿川の地域魅力を活かしたまちづくりの推進」、「大阪広域ベイエリアまちづくりの推進」にかかる事業の企画、調整を行った。

（１）淀川沿川の地域魅力を活かしたまちづくりの推進

淀川沿いの民間のまちづくり団体等が自由に意見交換を行う「淀川沿川まちづくりプラットフォーム」（平成29年８月発足）の共通のビジョンとなる「淀川広域連携型まちづくり戦略」（平成30年3月策定）に基づき、プラットフォームの関係団体が主催するイベントにおいて淀川ブランドの情報発信の連携を行った。

また、プラットフォームの関係団体が中心となり、中流域、三川合流域の２つのエリアの協議会が発足し、淀川の魅力を紹介するプロモーションビデオや、継続したまちづくり活動につながる沿川観光スポットのトレーディングカードの制作等、協議会の活動を支援した。

（２）大阪広域ベイエリアまちづくりの推進

夢洲における万博開催とＩＲなどまちづくりを契機に、そのインパクトや関連インフラ整備に加え、堺市など泉州地域沿岸部の様々な地域資源を最大限に活用することで、ベイエリア全体の活性化、さらなる大阪・関西の発展につなげていくため、令和元年10月に、大阪府、大阪市、堺市による大阪広域ベイエリアまちづくり推進本部を設置し、広域ベイエリアの将来像や整備の方向性について、ＩＲや大阪・関西万博の進捗状況を見据えながら検討を進めた。

**事業推進グループ**

１．「グランドデザイン・大阪」の推進

当グループが所管する３つのエリア「なんば・天王寺・あべのエリア」、「大阪城・周辺エリア」、「中之島・周辺エリア」について事業の企画、調整を行った。

（１）なんば・天王寺・あべのエリア

「なんば駅前広場空間利用検討会」（有識者、地域団体、府、市、大阪商工会議所）において平成29年３月に策定した「なんば駅周辺道路空間の再編に係る基本計画」に基づき、なんば駅前広場の整備及び利活用について協議・調整を行った。

（２）大阪城・周辺エリア

大阪城東部地区について、新大学の都心キャンパスの立地を契機として、まちづくりのコンセプトや土地利用の具体化を図るため、大阪府、大阪市、地権者等からなる「大阪城東部地区まちづくり検討会」を３回開催し、意見交換を踏まえて、「大阪城東部地区のまちづくりの方向性（案）」をとりまとめた。

府立成人病センター等の跡地活用については、「府立成人病センター跡地等のまちづくり方針」も踏まえ、今後の土地利用、事業の進捗や地域課題等について、関係部局や地元住民等と協議・調整を行った。

（３）中之島・周辺エリア

公民連携して、水緑、文化性豊かな中之島エリアの実現に取り組むため、地権者等で形成された中之島まちみらい協議会と意見交換を行うとともに、中之島のまちづくりにあわせた歩行者ネットワークや親水空間の整備に向けて、関係部局と協議を行った。